



竹材は外国にも台湾とかにごいませが、殆んど外国に出ている竹材は日本が主でございます。特に九州は日本の半分以上も占めている状態で、それに竹材については認識不足の人が多いのではないかと思います。

県が赤字でも植林に対しては補助を出して竹林を伐採して杉、檜を植えます。しかし竹林は年々減っていく一方です。竹林を一度伐採するならば三万か五万位しか反当がらない、そうすると五年も六年もしなければ元に戻らない、ということとは山持ちの認識が足りないんじゃないかと私は思っています。竹材をそうするとガラ竹に等しい安い竹しかできないわけです。杉や檜は三十年しないと伐れないという状態だと思っていますが、反当二百本前後になる、まあ反当三十万円というのが杉、檜の三十年後の所得ではないかと思えます。

九十四円というのが入ってきます。杉とか檜になると植林費用とか、後の手入れとか相当重なるわけで、それでももう少しどうやったらそういう竹が出来るかという事は、若竹を乱伐をせぬように、県で指導員をおいて、竹林の指導方法を考えて頂けばよいのです。

竹の将来性につきましては、日本、特に九州は硬質で光沢のある竹ができる。年々海外に出ているし、将来性がある。年間の竹の売上は四億一千八百五十万ぐらい、企業としてやってくる業者の売上があるのです。

マ竹の使用量は二百二十六万本、孟宗竹になりまして六十五万本間に企業としてやっているようです。そうしますと熊本県の若竹の面積四千町歩、孟宗竹が三千町歩、筍の栽培が一千万町歩と聞いています。屋敷内のが六百町歩で千町歩が竹林として造成していかなければならぬし、現在のところ竹の所有者が認識が不足している、三万でも五万でもいっぺんに皆伐に等しい切り方をする。竹の質は落ちるし生える量も少ないわけです。これを年々同じ数量で伐っていくならばいい竹が生えて、所得も上がっていくと思えます。

宮本さん、製紙原料に竹もある程度お使いになるわけでしょう。

宮本 ええ、従来のSP製法の設備を大幅に内部を改造しまして新しい製法に変わったわけで、この場合に竹パルプは

竹材を年々伐るようになりますと大体一反歩から年間七十本づつ切って、それを年三百円、平均二百円としますと一万四千円づつ反当があるわけです。これを年五分五厘の銀行定期で複利でいきますと三十年で七百七千二百八十九円四角という金額になるのです。

マ竹の場合にしても反当一万円づつあげますと三十年後には七十六万四千

最近食生活も向上した関係か、昨年殆んど消費してしまつたようで、今のところ生産過剩という事は心配ないように思いますが、むしろ今後は原木の関係で心配する程度です。

しいたけ原木は、パルプ材と競合するんじゃないんですか。

筑紫 まあ、あるようですね。

藤本 しいたけのことでチップ業者の人がチップの皮とかチップ材を使ったもので栽培できるというようなことをいわれていましたか……

筑紫 しかしあれは、高度な薬品なんかを使って採算がとれないようですね。

犬童さん、くぬぎ雑林というのは林業経営からみまして……

犬童 林業経営全般からみまして、パルプ原木としての、製材原木としての立木の造成ということにウエイトをおいていくのが本来ではないかと思うんですがね。

さきほどから林産物としての特用作物というべき竹材、しいたけの原木となるくぬぎの造成といった問題もあります。やはり林業経営の中で占めるウエイトは、微々たるものであつて、林業経営の重点をどこにおくかという杉、檜、松の造林ならざるを得ないのではないかと。竹材は平坦地、山麓地では可能です



最近食生活も向上した関係か、昨年殆んど消費してしまつたようで、今のところ生産過剩という事は心配ないように思いますが、むしろ今後は原木の関係で心配する程度です。

しいたけ原木は、パルプ材と競合するんじゃないんですか。

筑紫 まあ、あるようですね。

藤本 しいたけのことでチップ業者の人がチップの皮とかチップ材を使ったもので栽培できるというようなことをいわれていましたか……

筑紫 しかしあれは、高度な薬品なんかを使って採算がとれないようですね。

犬童さん、くぬぎ雑林というのは林業経営からみまして……

犬童 林業経営全般からみまして、パルプ原木としての、製材原木としての立木の造成ということにウエイトをおいていくのが本来ではないかと思うんですがね。

さきほどから林産物としての特用作物というべき竹材、しいたけの原木となるくぬぎの造成といった問題もあります。やはり林業経営の中で占めるウエイトは、微々たるものであつて、林業経営の重点をどこにおくかという杉、檜、松の造林ならざるを得ないのではないかと。竹材は平坦地、山麓地では可能です

これは孟宗の場合ですか。

菅野 孟宗もマ竹も同じ位です。

魚住 それも反当植付量によると思うんです。六十本程度以上植えておけば四年目ぐらいから筍の収穫ができるという実証があるんですが、結局竹材としての利用方法と、筍としての利用方法と二通りあると思うんです。

何が一番金にかわるのが早いとかいえば筍あたりなんで、特に農家に金の入らない時期に人手を要せずに行けるものから、従来の所で反当四万円ぐらい収穫があつていきましたのが、今年あたり園地化したものは十四、五万あげているようです。

しいたけ原木としてのくぬぎ

魚住さんの方では筍の他にしいたけなんかも相当やられますか。

魚住 しいたけも盛んですけど、価格が安定しなくて対共産圏貿易というのはなかなか離しにくいんですね。

筑紫さん、しいたけの話が出ましたが……

筑紫 しいたけに関しては年々生産量があふえています。全国的にも増産しています。昨年は非常な豊作でわれわれとしては価格が暴落するのではないかと心配しましたが……

しいたけの話が出ましたが……

筑紫 しいたけに関しては年々生産量があふえています。全国的にも増産しています。昨年は非常な豊作でわれわれとしては価格が暴落するのではないかと心配しましたが……

町ぐるみで

育てる学校植林

こだま

球磨郡湯前小学校

学校の図書室に通されると、まず、壁いっぱいをうずめた表彰状のかがずが目につく。全国学校植林コンクールに例年上位入賞、県下ではむろん、最優秀学校植林校である。

もともと湯前町は成人記念に植林、還暦祝に植林と、町をあげて植林の盛んな地方だ。この環境の中から、この学校の見事な学校林が生まれたのは当然かも知れない。

赴任してきて、先生がまず感じるのは、子供たちの情懐がなごやかなことだ。という。学校植林は、学校教育の教科過程の中に組み込まれ、児童の学習に直接効果があると同時に、自然に



親子そろって学校植林

親しみ、自然を愛する心を、培っているであろう。

卒業式の前、恒例の学校植林の時には、父兄はもちろん、卒業した若者たちも、はるばるかけつけるのだそう(ワ)

セインが長いものですからさげにくい性質をもっているのでSPのパルプの中に竹のパルプを混入して使おうと、ひきさき度が強くなるというので工場の方でも要請がありましていろいろ勉強いたしております。

何名まで入った方がいいんですか。

宮本 まあ二〇名ぐらいまでは入ってもいいんじゃないかと思つていますが、当面の問題として竹の場合、沢山のものを期待できません。

竹材をよくするために、新しく竹林を造成していく方法と、今までは竹林を改良していく方法とがあると思つて……

菅野 やつぱりこれから植林するには現在ある竹林を改良していった方が早いと思つています。

竹林を新たに造成するとしたらさきほどの話に出ましたように、開拓地なんかで農業としてうまくいってないところあたりでやるとすれば割に早くできるものですか。

需要を考えると、小径木よりも大径材をとるということを考えていきたいと思つています。というのは、今外材がどんどん入ってきますが、外材の多くは大径材で例えアメリカから入ってくる尺角材でも三寸角をとるとすれば九本とれるわけですね。ところが尺角で三寸角を九本とるためには何回ノコにかけるのかといえ九回です。

ところが小径木で三寸角を九本とるには三十六回となって非能率的なんです。やはり大径材の方がより能率的だということ、ただ目先のことだけに迷つてしまつて……何しろ林業は百年の計といえますから一辺倒になつてはいけません。と思うんです。

いづれも同じ「人手不足」

小規模農林家はどんなふうにかえていったらいいでしょうか。

魚住 私は物が表に現われる思想ではなくて、精神的な思想が大事ではないかと思つています。特にこの頃の現実主義的な世の中になつては、何十年先のことは計画がたないという若い人たちの考え方をすし、若い人たちが自分の人生計画をたてるようなつもりで、何年たつたら何をやるぞといった方針をたてさせるような精神面の確立が必要なのではないかと思つています。

ここで私の方の例ですが、旧迫間の鳥



昨今は林業労務も人手不足で……

需要を考えると、小径木よりも大径材をとるということを考えていきたいと思つています。というのは、今外材がどんどん入ってきますが、外材の多くは大径材で例えアメリカから入ってくる尺角材でも三寸角をとるとすれば九本とれるわけですね。ところが尺角で三寸角を九本とるためには何回ノコにかけるのかといえ九回です。

ところが小径木で三寸角を九本とるには三十六回となって非能率的なんです。やはり大径材の方がより能率的だということ、ただ目先のことだけに迷つてしまつて……何しろ林業は百年の計といえますから一辺倒になつてはいけません。と思うんです。

小規模農林家はどんなふうにかえていったらいいでしょうか。

魚住 私は物が表に現われる思想ではなくて、精神的な思想が大事ではないかと思つています。特にこの頃の現実主義的な世の中になつては、何十年先のことは計画がたないという若い人たちの考え方をすし、若い人たちが自分の人生計画をたてるようなつもりで、何年たつたら何をやるぞといった方針をたてさせるような精神面の確立が必要なのではないかと思つています。

ここで私の方の例ですが、旧迫間の鳥